

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 令和7年2月20日

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービス こぼんはうすさくら 豊田大林教室 対象人数（保護者）24人 回答者数 24人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらかといえば	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		活動スペースが広く確保されている。	部屋を分けたり、仕切りを使うなどして、お子様の状況や活動に合った環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		十分だと思う。	継続して十分な職員確保を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		わかりやすい環境になっている。	お子様が自分でわかって行動できることを大切に、環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			整理整頓されている。	継続して環境を整えていきます。活動に合わせた空間の活用に努めていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		集団の中で個別にも対応している。	お子様の特性や状況を捉え、個々に応じた関わりを大切にしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			色々なプログラムを提供している。	5領域を踏まえた支援プログラムを企画し、わかりやすくお伝えしていきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24			面談でこどもの話や保護者の希望を聞いて聞いている。	面談時に親御様からお話を伺うとともに、アセスメントツール(co-mii)も用いて、個別支援計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			個別支援計画に設定されている。	引き続き、お子様の支援に必要な項目を適切に設定し、より具体的な支援につがるよう努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			日々の様子を見るだけではわからない部分もある。	連絡帳で活動の様子や写真を共有するとともに、送迎時の引き継ぎや面談などでお伝え
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			毎月色々なプログラムがあります。	毎月集団プログラムを作成し、固定化されないよう心が
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	8	7	支援学校に通っていますので、放課後等デイサービスを利用することで、地域小のお子さん達と交流ができてお	公園や地域の遊び場で場を共有して遊ぶ機会を作っています。交流については、今後検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			契約時に説明がありました。	引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		面談時や署名時に説明がありました。	引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	6		保護者同士の交流の機会があり、他の親御さんの話が聞けて、悩みが同じで自分だけではないと思えて良かった。	今後もご家族で参加できるプログラムや研修会などを企画してまいります。

	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	22	2		連絡帳などを通して、お伝えしている。	引き続き、連絡帳や公式LINE、送迎時の引き継ぎなどを通して情報共有し、共通理
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24			職員さんが質問に答えてくれます。	モニタリング時をはじめ、その都度ご質問をいただき、ともに考えさせていただいてお
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2		話を聞いて支援してくれています。	引き続き、親御様からお話を伺いながら支援させていただ
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	11	3	ひとりっ子なので、支援がされているのか分かりません。	参観ウィークやてらこばカフェ、親子参加イベントを開催させていただきました。きょうだい同士の交流などは今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3		相談に乗ってくれています。	引き続き、お子様や親御様からの相談や申入れに迅速に対応させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24			配慮されていると思います。	引き続き、送迎時の引き継ぎや連絡帳、公式LINEなどで意思疎通や情報伝達を行い、親御様からの相談もお受けして
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	2		活動内容や行事予定を公式LINEでお知らせいただいています。	引き続き、プログラムや行事などの情報を公式LINEを用いて発信し、自己評価の結果をホームページに掲載していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		されていると思います。	個人情報には鍵付きの書庫で保管しています。引き続き、個人情報の取扱いに留意してい
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	7		避難場所の連絡がありました。	親御様への周知に努めていくとともに、訓練実施を進めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	5	1	プログラムで避難訓練を行っていた。	引き続き、定期的に避難訓練を行ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	4		安全確保はされていると思うが、内容はわかりません。	引き続きお子様の安全を第一に支援を行っていくとともに、安全計画の周知に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3	1	こども同士のトラブルで怪我をした時など、すぐに連絡をいただいています。	引き続き、事故等が発生した際は、迅速に親御様に連絡を取り、状況の説明をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24			環境に慣れて、安心して通うことができている。	お子様が安心して通うことができるよう、環境を整え、活動の内容や参加の仕方を工夫
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1		毎回楽しく行かせていただいています。	お子様が楽しく通うことができるよう、引き続き、期待になる活動を提供していきま
	29	事業所の支援に満足していますか。	24			一生懸命取り組んで対応してくださっています。	親御様からのご意見も頂きながら、より良い支援につなげ

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7年 月 日

事業所名 こばんはうすさくら豊田大林教室

（職員数） 17人 （回収） 17人 （回収率） 100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	3	こどもの人数や状況に応じて部屋を分けるなど、環境を整えている。学習時など、仕切りなどを有効活用し、集中できる環境を作っていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	9	日によって少し差があると思います曜日固定でご利用いただいているため、こどもの状況に合わせて人員を確保している。十分な人員の確保が難しい場合は、ご利用日のご相談や送迎のご協力も仰いでいく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	2	目の前のことに集中できるよう、玩具等は片付け、遊ぶ時に出す形をとっている。トイレに段差があるため、必要な介助を行なっていく。 部屋表示の看板を設置できていないため、作らなければいけないと思っている。 段差が多少ある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	2	毎日清掃を行い、清潔を保つよう努めると共に、活動に合わせて部屋を分けるなどの工夫をしている。 冬は乾燥などで空気が悪くなることが多いため、いつでも空気清浄機を使えるように定期的に掃除しておくべきだと感じた。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	1	集団での活動が中心だが、集中したい時や気持ちを落ち着かせたい時には、別室を使用している。こどもの状況に合わせて、より個別の対応ができるよう人員確保に努めていく。 クールダウンのために基本的にあまり使用していない部屋に誘導することができる状況である。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	17	0	保護者からのご意見も踏まえ、職員間で相談している。「振り返りシート」を基に、業務改善に向けての会議も行なっていく。 LINEで共有
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	評価票によりご意向等を確認すると共に、送迎時や公式LINEでのやりとりを通して、ご意向を把握し、業務改善につなげている。 保護者からの声から反省するべきところを把握して改善のために話し合うことが多い。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	朝礼や職員会議等で職員の意見を把握し、業務改善につなげている。非常勤職員の意見も積極的に取り入れられるよう、意見交換の場を設けていく。 定期的に面談があり、その内容を受けて改革を行うことが何度かあった。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	17	第三者評価実施なし 第三者による外部評価は行っていないが、こばんはうす本社のスーパーバイザーからの評価を業務改善につなげている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	法人内研修を毎月行っており、外部研修にも積極的に参加している。今後も継続していく。 月に1回以上の間隔で研修を受けることができている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0	こども自身の思いや保護者の希望、こどもの支援に関わる職員の意見を踏まえて計画を作成している。保護者の強い希望がある場合にも、こどもの最善の利益を第一に考えていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	17	0	AIアセスメントツールを導入し、より客観的な分析を踏まえて計画を作成できるよう努めている。 一人ひとりの課題を適切に捉えた支援計画だと思う。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	こども自身の思いや保護者の希望、こどもの支援に関わる職員の意見を踏まえて計画を作成している。保護者の強い希望がある場合にも、こどもの最善の利益を第一に考えていく。 カンファレンスでは、様々な情報が共有されており、意見を出しやすい環境である。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	計画を職員間で共有し、朝礼で個別の支援を確認することを通して、計画に沿った支援を行うことができるよう努めている。朝礼に参加していない非常勤職員にも支援内容を共有していく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	0	日々の集団プログラムや自由遊びでの様子を記録に残し確認している。標準化されたツールの使用も検討していく。 一人ひとりの様子を見て、その子の様子について話したりすることもある。

	16	<p>放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。</p>	17	0	<p>こどもの支援に必要な項目を設定し、保護者や相談支援専門員との連携を図っている。移行支援について、事業所としての役割や支援方法に関する学びを深め、具体的な支援につなげていく。支援として何をすることが明記されている。</p>
--	----	---	----	---	---

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	0	職員間で役割分担しながら活動プログラムを立案し、意見を出し合っていて決めている。今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	0	こどもの状況や保護者のニーズも踏まえながら、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。外出プログラムの行き先が限られているので、同じ場でも新たな経験ができるよう取り組み方を工夫していく。 以前に行ったプログラムであっても、ブラッシュアップをしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	17	0	集団活動を重視しながら、こどもの状況に合わせて、個別の活動にも取り組んでいる。個別活動も深めていくことができるよう、時間の使い方を工夫していく。 一人ひとりに合わせた内容の支援を行なっている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	支援開始前に打合せを行い、支援の内容や役割分担、個別の対応が必要なこどもの状況等を共有している。非常勤職員にも共有しながら、声を掛け合っていてチームで支援していく。 会話や振り返りシートにて情報共有がされている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	0	支援終了後は端的な情報共有が中心だが、翌朝の朝礼で振り返りを行っている。支援の振り返りと気付いた点の共有を積み重ね、より良い支援につなげていく。 会話や振り返りシートにて情報共有がされている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0	日々の支援の振り返りを記録し、改善につなげている。支援の検証を行う機会を作っていく。 毎日の日報にて支援の様子と結果を記すようにしている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0	定期的なモニタリングを行い、保護者の希望も踏まえながら、計画の見直しを行なっている。今後も継続していく。 モニタリングはきちんと半年に一回行われている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	17	0	自立支援や創作活動、余暇活動等を組み合わせて支援を行なっている。地域交流の機会を増やしていく。 自立支援等の活動と余暇の提供は合わさっていると思う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16	1	自由遊びや集団プログラムの中で、内容や参加の仕方を自分で決めることができるよう、選択肢を示しながら関わっている。選択肢を増やすなど、自己決定をする力を伸ばすことができる支援を行っている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	0	関係機関との会議に積極的に参加している。会議の開催を求めるなど、自事業所からの働きかけも行なっていく。 職員間での積極的な情報共有により、全員が状況をよく理解できるようになっている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	2	こども園や学校へのお迎え時に情報共有をしているが、連携して支援する体制の整備には至っていない。今後、訪問等を通して連携を深めていく。 送迎時等の積極的な情報共有を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17	0	翌月のご利用予定を学校へお送りしている。送迎等の連絡調整も適宜行なっている。今後も継続していく。 公式LINEにて確認や連絡を行なっている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	4	保護者を通じて就学前の状況の聞き取りを行なっているが、園や事業所等との直接的な情報共有や相互理解には至っていない。今後、連携を図っていく。 連絡を取り合い、その子の今までの状況について知ることがあったと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	7	低年齢の利用者が中心のため、対象者がいない。今後、対象者にに応じて取り組んでいく。 利用児童の中に、障害福祉サービスへ移行した例がないためわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	4	児童発達支援センター主催の研修に参加し、助言をいただいている。今後も継続しながら、個別の相談も行なっていく。 支援センターの研修にて、センターと当事業所を併用している子について情報共有していただいた。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	10	公園や地域の遊び場にお出かけする機会はあるが、交流の機会は持っていない。今後、検討していく。 公園などで一緒に活動することはある。 少ないように感じる。ただ、公園へ行った際など偶然にも地域のこどもと一緒に遊ぶ機会が生まれることもあった。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	7	協議会や研修等に参加している。今後も継続していく。 全くではないが、年に一回程度だったように思う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	送迎時や連絡帳、公式LINEなどを用いて情報共有をしている。今後も継続していく。 連絡帳や送迎時の会話で積極的に伝えるようにしている

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	2	親子参加のプログラムを企画している。参加者が限られているので、保護者のニーズに合った研修等の機会を作っていく。今年から始めたてらこぼカフェでは、講話という形で情報提供している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	0	契約時に説明を行なっている。今後も継続していく。契約の際に行なわれていると思う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0	面談の機会を設けている。今後も継続していく。モニタリングの面談の記録が詳細で、内容は計画に反映されている。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17	0	面談時やお電話等でお話を伺い、共に考える機会を設けている。保護者の悩みに応じた研修の機会も作っていく。モニタリング、あるいは急を要するような事例の場合も電話等で相談を受けている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	その都度お話を伺い、共に考える機会を設けている。保護者の悩みに応じた研修の機会も作っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	14	3	父母会を開催し、交流の機会を作っている。きょうだい同士の交流の機会も検討していく。今年から始まったてらこばカフェの取り組みは保護者交流につながっていると思う
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0	相談や申入れがあった際は、迅速に職員間で共有し、対応している。今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	0	公式LINE等で情報を発信している。今後も継続していく。HUGを使って毎日活動記録を発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	書類は鍵付きの書庫に保管し、取扱いに留意している。個人情報保護についての研修等、職員の意識付けも行っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	書類は鍵付きの書庫に保管し、取扱いに留意している。個人情報保護についての研修等、職員の意識付けも行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	7	地域住民との交流の機軸は持っていない。今後、検討していく。なかなか機会がないが考慮している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	1	マニュアルを作成し、避難訓練や防犯訓練等を実施しているが、保護者等への周知が不十分。公式LINE等で、周知していく。職員会議前の研修で実践的に行ったり、プログラムに避難訓練を取り入れたりしている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17	0	BCPを策定し、非常に災害に備えている。研修や訓練を実施予定。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	17	0	てんかん発作等の状況を保護者と確認し、情報を掲示している。情報共有を大切し、状況に合わせて更新していく。特に、てんかんについては全職員が一目でわかる位置に発作の症状についての情報共有がされている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0	食物アレルギーの対応を保護者に確認し、状況を掲示している。重いアレルギーのある子どもについては、医師の指示書の共有も求めている。アレルギーのある子について情報共有されている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	0	安全計画を作成し、研修や訓練を実施予定。職員全員が理解して支援できるよう努めていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	1	安全計画は作成しているが、家族等への周知が不十分。今後、公式LINE等を用いて周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	0	日々のヒヤリハットをグループLINEにて共有し、非常勤職員を含め全ての職員が意識できるよう努め、再発防止策を朝礼等で確認している。今後も継続していく。日々の日報に記載、特に重要な事項についてはヒヤリハット報告書を紙面で作り、ファイル保存している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	0	職員研修を行なっている。日々の子どもへの関わりや声かけを振り返る機会も大切にしている。職員会議にて行なっている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16	1	やむを得ず身体拘束を行う場合について面談時に保護者へ説明している。計画にも具体的に記載するようにしていく。	